

行政視察報告書

令和 2年 3月24日

会 派 名 無会派

会派代表者 東猴史紘

行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和 2年 2月 20日 (木)
視察時間	午後 1時 15分～午後 2時 45分
視 察 先	国土交通省中部地方整備局 木曾川上流河川事務所
視察項目	防災拠点について 江南市防災拠点について (説明) 長良川岐阜河川防災ステーション (見学)

②

年月日	令和 年 月 日 ()
視察時間	
視 察 先	
視察項目	

③

年月日	令和 年 月 日 ()
視察時間	
視 察 先	
視察項目	

行政視察報告書

①

年月日	令和2年2月20日(木)
視察時間	午後1時15分～午後2時45分
視察先	国土交通省中部地方整備局 木曾川上流河川事務所
視察項目	防災拠点について 江南市防災拠点について(説明) 長良川岐阜河川防災ステーション(見学)
■目的 江南市北浦地区に建設を予定している、新ごみ処理施設(約7.2ヘクタール)はこれを3つのエリアに分割し、現在のところ、東側エリアは尾張北部環境組合にて利用する予定がなく、江南市当局は、木曾川上流河川事務所に対して、国の防災拠点としての活用が可能であるか打診している状況なので、この機会に現状把握と、今後どのように対応が進んでいくのかを調査する。	
■内容 (1) 江南市防災拠点について(説明) 江南市から、防災拠点として北浦地区を利用することについて、平成28年に打診があり、同事務所内での検討を実施した結果、江南市鹿子島町裏よりも交通アクセス面でメリットがあるとの見解を得たので、木曾川上流河川事務所は、当初計画していた江南市鹿子島町裏から、北浦地区への変更は、現在計画変更中の段階であり、変更申請書を作成し、国土交通省の所管部門にて精査、検討を実施するとのことでした。 防災拠点には、平常時には、「ヘリポート」「緊急車両スペース」「作業スペース」部分は駐車場として、また、「備蓄土砂の堆積スペース」は広場や、グラウンド等での活用が可能であるとの説明がありました。 また、防災拠点に隣接するスペースについては、協議を行った結果にはなるが、木曾川上流河川事務所側の負担にて、「備蓄土砂の堆積スペース」と同じ高さ(周辺堤防と同じ高さ)まで盛り土を行うことが可能であることの説明がありました。東側エリアの整備スケジュールについては、現時点では全く決まっていないとの説明がありました。 (2) 長良川岐阜河川防災ステーション(見学) 災害発生時に利用する「防災司令室」、「水防団待機場所」として利用できる施設とともに、岐阜市が平常時に利用するための「岐阜市長良川防災・健康ステーション」が整備されていました。同施設は防災拠点横に隣接した土地を岐阜市が購入し、木曾川上流河川事務所にて盛り土を行い、その後に岐阜市にて施設を建設したものです。同施設内に「防災司令室」がありますが、施設はあくまでも岐阜市の所有物です。ただし、江南市が同ステーションのように施設を建設することは岐阜市と条件が異なるため難しいのではないかと説明がありました。	

■所感

防災拠点に隣接するスペースについては木曾川上流河川事務所側の負担にて、「備蓄土砂の堆積スペース」と同じ高さ（周辺堤防と同じ高さ）まで盛り土を行うことが可能であることの説明がありました。現状では第三者が保有する土地等も当該スペースにはあるのでそういった問題を江南市がクリアしていくよう行動を求めたいと思いました。